

【開催要綱】

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 公開講座

「災害とともに暮らす知恵を紀南から」

—どこに、どのように住むべきか？ 災害のあと、人と地域がどうつながり直すか—

1. 開催趣旨・目的

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターは、「レジリエンス（復元力・回復力）」と「共創（協働による創造）」を理念に掲げ、地域に根ざした防災・減災・復興の研究と実践を進めてきました。

このたび、その成果を地域の皆さまと共有し、ともに未来を考えるために公開講座を開催いたします。災害は“恐れるもの”であると同時に、“地域の未来をつくるきっかけ”ともなり得ます。本講座では、学内外の研究者による講演や参加者との対話を通して、災害リスクを学び合い、これからの「地域のあり方」を一緒に考えていきます。

特に今回は、来年で発災から15年を迎える紀伊半島大水害を振り返りながら、紀南地域に焦点をあてます。地質・地震・復興まちづくりの専門的な視点を交え、地域に根ざした防災の知を深める機会となります。

2. 主催

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター

3. 開催概要

項目	内容
開催日時	2025 年(令和 7)10 月 13 日（月祝） 13:30～16:30（開場 13:00）
開催形式	対面開催
会 場	和歌山県立情報交流センター Big・U 講義室（和歌山県田辺市新庄町 3353-9）
定 員	約 50 名（対面・先着順・事前申込制）
参加費	無料
対 象	地元住民、防災関係者、自治体職員、教職員、学生、研究者など防災に関心のある方

2025/09/12

4. プログラム（予定）

時間	内容
13:30～13:35	開会挨拶 江種 伸之（和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター長）
13:35～14:05	【講演①】「南海トラフ地震と被害想定への向き合い方」 此松 昌彦（和歌山大学 教授）
14:10～14:40	【講演②】「山間部の災害リスクと 2つの課題」 後 誠介（和歌山大学 客員教授）
14:45～15:15	【講演③】「災害後の地域の姿を描くには」 平田 隆行（和歌山大学 准教授）
15:15～15:25	休憩
15:25～16:25	クロストーク「田辺白浜沿岸部のリスクを語り合う」 モデレーター：センター職員／登壇：上記3講師／ 災害を“恐れるもの”としてだけでなく、“未来のまちを考えるきっかけ”に変える時間として、参加者との意見交換・質疑応答
16:25～16:30	閉会挨拶 平田 隆行（副センター長）

5. 申込方法

以下の申込フォームより、事前にお申し込みをお願いいたします。

【申込受付期間】2025年9月13日（土）～9月30日（火）

【定員】先着50名様

※合理的配慮（会場でのサポート等）を必要とされる方は、2025年9月20日（土）までに、下記の問合せ先までメールにてご相談ください。

なお、その時点で定員に達している場合は、ご参加いただけないことがあります。あらかじめご了承ください。

【申込フォーム URL】 <https://x.gd/9W8xl>



6. 問合せ先

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター（事務局）

〒640-8510 和歌山市栄谷 930

TEL：073-457-7558（土日祝除く 10時～16時）

E-mail：saigai@ml.wakayama-u.ac.jp saigai[at]ml.wakayama-u.ac.jp

Web：<https://www.wakayama-u.ac.jp/disaster/>